

事務事業評価票

番号	枝番号	事務事業名	部名	課名	所属長名	
05	00	緊急通報システム管理事業	福祉生活部	長寿福祉課	原田 康弘	
基本事項	基本政策	01	ともに支え合い、笑顔輝くあたたかなまち(健康・子育て・福祉)	財務科目	01	一般会計
	政策	05	いきいきと暮らせる高齢者福祉の充実		03	民生費
	施策	02	高齢者福祉サービスの充実		01	社会福祉費
					03	老人福祉費
<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度		事業開始年度	平成元 年度	完了予定年度	未定 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時

事業の対象(誰に対して・何に対して) 市内に居住するおおむね65歳以上の独居高齢者等で、心疾患等があり日常生活に不安のある者	事業の目的(どういう状態にしたいのか) 緊急通報システムを設置することにより、ひとり暮らし高齢者等の急病、事故等の緊急時に、地域支援協力体制の連携により、速やかに援助を行う体制を整え、自立生活の安全を確保する。
事業の内容(目的達成のための手段・方法)	
ひとり暮らし高齢者等から、居住する地区の担当民生委員を通じた申請に基づき、緊急通報装置を貸与する。急病、事故等により緊急に援助が必要となった場合に、緊急通報装置により消防本部に通報が入り、あらかじめ組織した地域支援協力体制の連携により、速やかに支援する。 機器代、設置・撤去費用は市が負担(所得要件により利用者負担あり)。装置に係る電気代、電話の基本料金及び通話料、過失による修繕料、電池代等は利用者負担。	
補助・単独: <input type="checkbox"/> 国・県の補助金有り <input checked="" type="checkbox"/> 市単独	
<input type="checkbox"/> 義務実施事業	根拠法令要綱等
<input type="checkbox"/> 努力義務実施事業	根拠法令要綱等
<input checked="" type="checkbox"/> 任意実施事業	根拠条例等 西脇市緊急通報システム設置運営事業実施規程
<input type="checkbox"/> 市単費上乗せ(または の場合)	根拠条例等
正規職員が関与すべき法的義務性	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (該当業務:)
法令名・根拠条文	
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担金 <input type="checkbox"/> その他()
委託の場合: <input type="checkbox"/> 入札 <input type="checkbox"/> 随意契約(契約先:)	

総合計画・行動計画 施策シート

優先度

A B C

	平成20年度(参考)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	以降
展開方針 (年度別の事業内容)					
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
平成21年度の実施内容・成果			平成21年度の実施内容・計画どおり実施できなかった理由		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進んでいる。					
<input type="checkbox"/> おおむね計画どおり進んでいる。					
<input type="checkbox"/> 着手しているが、計画よりも遅れている					
<input type="checkbox"/> 計画どおり着手していない。					
<input type="checkbox"/> 完了・達成(計画事業の終了)					
確認項目			市長指示事項等		
<input type="checkbox"/> 総合計画対象事業					
<input type="checkbox"/> 市長公約・懸案事項					
<input type="checkbox"/> 議会確認事項					
企画政策課 意見			行動計画掲載		
			<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C		

		単位	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
事務事業データ	事業費(予算額または見込額) (A')	千円	777	740	549	710	710
	特定財源		0	0	0	20	20
	一般財源		777	740	549	690	690
	事業費(決算額) (A)		598	620	475		
	特定財源		12	20	12		
	一般財源		586	600	463		
一般職員所要人員 (B)	人	0.08	0.08	0.08			
一般人件費[平均給与×(B)] (C)	千円	633	633	633			
総コスト[(A)+(C)] (D)	千円	1,231	1,253	1,108			
受益者負担額 (E)	千円	12	20	12			
受益者負担率[(E)/(D)] (F)	%	1.0%	1.6%	1.1%			

【1次評価】

評価実施：平成21年度

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
活動指標	名称	新規設置台数	28台	22台	21台	24台
	実績値	15台	22台	33台		
	単価	82千円	57千円	34千円		
	達成度	53.6%	100.0%	15710.0%		
(目標)	名称	設置台数	215台	240台	240台	240台
	実績値	228台	223台	213台		
	単価	5千円	6千円	5千円		
	達成度	106.0%	92.9%	88.8%		
成果指標	名称	出動回数	0回	0回	0回	0回
	実績値	16回	21回	18回		
	単価	77千円	60千円	62千円		
	達成度	-	-	-		
(目標)	名称					
	実績値					
	単価					
	達成度					
評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	5	事業の必要性	5	実施主体の妥当性	4
	直接のサービスの相手方	1	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	5
総合評価	評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止				
	判断理由	<p>緊急通報装置の設置については、毎年新たな希望者からの要望は増加傾向である。高齢者が急病、事故等により緊急に援助を必要とする場合には、必要なサービスと判断するため、継続実施していく考えである。予算、在庫等を考慮し、真に必要な方を見極めると同時に、身体状況を確認しながら、緊急性の高い方を優先していく。</p> <p>当該装置については、内蔵電池を充電しながら半永久的に使用可能なことから、死亡、施設入所等必要でなくなった方の分を取り外し、新規希望の方へ再利用する方向で取り組むことにより、高額な新品購入予算の抑制に継続して努める。また、機器の購入費用等も今後検討していく。</p>				

【2次評価】

評価実施：平成21年度

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	4
	直接のサービスの相手方	2	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	3
総合評価	評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止				
	判断理由	<p>平成元年度の事業開始当初から緊急通報システムの取り付け業者が固定化しており、1台当たりの設置費用75,000円も固定化している。</p> <p>近年、携帯電話等の通信機器がめざましい発展を遂げている中で、当該システムに替わる手段の検討がされていない。死亡、入所等によりシステムが不要となった利用者から機器の回収が困難なケースもある。心疾患等、申請者個々の状況を判断して貸与しているが、貸与基準等が不明確なところもある。</p> <p>新たな緊急通報システム取り付け業者の発掘により見直し等を行うなど、システム運営にかかる費用の軽減策を検討すべきである。また、総合相談事業等他の福祉サービスと連携を図ることにより充実した事業とする必要がある。貸与基準を明確にして、真に必要な市民へ公平に行き渡らせるようにする必要がある。消防広域化に伴う対応の必要があるので、状況を的確に検討しておく必要がある。</p>				

【3次評価】

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
総合評価	評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止				
	判断理由					